



小林 幸子 (民声クラブ)

安全、安心なまちづくり・安中市の公共の福祉・観光振興について

防災対策について

問 AEDの配置マップを作り市民へ周知すべきでは。

答 本市ホームページに日本救急医療財団全国AEDマップをリンクしています。今後、市民便利帳などに掲載を検討します。

問 危機管理課に女性職員を配置すべきでは。

答 男女共同参画を推進します。要配慮者の個別避難計画の作成状況は。

問 現在準備を進めています。

問 防犯灯と同様に防犯カメラについても、設置は地区で行い、電気料を市が負担する施策を講じてはどうか。

答 カメラの設置前後で犯罪率に差が出ることは分かっており、補助制度等を検討します。

問 一般廃棄物処理について

問 運搬業の新規業者を受け付けていない理由・根拠は。

答 廃棄物処理法に、「収集又は運搬が困難であること」が許可の条件となっており、本市におけるごみ処理量は年々減少しているため、業者数は充足していると判断しています。

問 道の駅について

答 整備費用の他市の事例は。「小栗の里」は、総額6億2千万円です。「道の駅しもにた」は、総額約8億円で、県が約5億4千万円を、町が約2億6千万円を負担しています。



平成15年から開業している「道の駅しもにた」



小林 新也 (新政会)

農地・市営住宅について

農地について

問 耕作放棄地の現状は。

答 過去5年間で、平均で540㌫です。太陽光発電施設を目的とした農地転用許可件数は過去5年間で、681件です。

問 耕作放棄地増加の問題点は。

答 高齢化による耕作面積の減少、後継者不足、未相続による管理者不在、有害鳥獣の住処等です。

問 有害鳥獣対策は。

答 過去5年間のイノシシ駆除件数は2684頭で、予算は年間平均で約2千800万円です。

問 耕作放棄地対策は。

答 原則3年以上耕作されていない市内10アール以上の畑に対して伐根整地等を行った場合、10アールあたり1万円の補助金を5万円を上限に交付しています。

問 農業振興地域の除外件数は。

答 過去5年間で469件、約43万平方㌫です。申請及び許可の内容ですが、近年は太陽光発

電施設が大半を占めています。

問 耕作放棄地削減目標と実績は。

答 令和3年度は、遊休農地面積24㌫に対して解消目標は10㌫、解消実績は、約4・5㌫でした。令和4年度は遊休農地22㌫に対して解消目標は6㌫です。



市内の耕作放棄地

問 今後の耕作放棄地対策は。

答 耕作放棄地解消対策事業を継続しながら補助金額や交付条件等、事業の見直しを検討します。

その他、1項目を質問しました。